

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
御所見地区

平成24年7月

神奈川県藤沢市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	一人当たり緑地・広場面積	m ² /人	13.5	19.6	20.1	確定	○	あり	20.1	H23年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事後評価時の評価値と確定値で変化なし。 地区内に残されている緑地の用地取得をすることで一団としての緑地の保全が推進され、施設整備を進めることで自然環境や谷戸景観を楽しむ場としての活用が図られるなど、地域の魅力向上につながった。また、広場等の整備計画策定については住民参加によるワークショップを実施し、市民の交流と憩いの空間を創出することで、地域住民の活向上が図られた。
						見込み	●	なし					
指標2	地域交流センター利用者数	人/年	107,000	120,000	145,000	確定	○	あり	144,570	H24年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事後評価時の評価値に比べ確定値はやや低下したものの、目標値は達成した。 地域交流センター(御所見公民館)等の改築により公民館施設(体育室、ホール等)が充実したことや隣接する広場を整備したこと、周辺道路の改良によるアクセス向上により、利用者の増加につながった。
						見込み	●	なし					
指標3	生活環境改善割合	%	41	60	60	確定	○	あり	59	H23年5月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	下水道普及率の算出に用いる区域内人口の値が目標値設定時の推定値と異なったため、目標値は達成できなかったが、地形に沿った下水道(汚水)の面整備を計画的に行ったことにより、生活環境が大幅に改善され「だれもが安全、安心して快適に暮らし続けられる生活環境づくり」の推進につながった。
						見込み	●	なし					

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	通学路における歩道整備率	%	8.5	/	29.6	確定	/	/	29.6	H23年5月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事後評価時の評価値と確定値で変化なし。 地区内の通学路や交通安全上危険な道路を把握し、地域の意見を聞き入れながら整備を行ったことで、歩行者の、特に登下校時の児童の安全確保につながった。
						見込み	●						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	里山等の地域資源の保全	取得した緑地等の用地の草刈等並びに地域住民組織との協働による維持管理を行った。	適切な間伐等の実施により里地・里山景観の保全につながった。	里山保全再生管理については、公民連携、ボランティア活動による管理が望ましい姿であり、その組織づくりに着手していく。
	地域農業の活性化	農業交流施設を利用した地域交流イベントの開催。	地域交流、地産地消の促進につながった。	地元組織の意見、提案などを反映し、地域産業の活性化につながる取組に対して支援を行っていく。
	災害時の市民の安全確保、歩行空間等における安心・安全性、生活基盤施設の整備	歩行空間、避難施設等の適正な維持管理。下水道の整備。	市民の安全確保、生活環境の改善につながった。	道路整備事業や下水道事業を継続的に進めていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	景観形成に向けた地域資源の利活用、農業戸数減少、後継者難傾向の抑止	健康の森について、地域住民参加のもと、地域資源の保全、利活用の方向性の検討を行った。	健康の森について貴重な谷戸環境や緑地空間の保全(里山再生)と自然環境を活かした地域活性化を全体方針とする「健康の森基本計画」を地域住民や自然保護団体などの協働により策定した。	「健康の森基本計画」の実現に向けた検討ほか、農業の維持、継続に向けた振興策についても展開する必要がある。
	地域内商業の活力向上			地域住民の利便性向上に向けたまちづくりの検討を、地元組織と協働で進めていく必要がある。
	交通不便地域の解消			地元組織の意見、提案などを反映し、関連事業との連携を図りながら、道路整備ほか公共交通の充実の促進を図る必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項